

専門学校仙台総合医療大学校 令和7年度学校関係者評価委員会 報告

令和6年4月1日に学校名を学校法人菅原学園 専門学校仙台総合医療大学校と変更し、言語聴覚科を新たに開設し、専門職の育成に努めております。

本校規定に基づき、令和7年6月26日に学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、以下の通りご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

1. 日 時 令和7年6月26日（木）15:00～16:00
2. 場 所 専門学校仙台総合医療大学校
3. 出席者

【令和7年度 学校関係者評価委員】

	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	遠藤 知恵 先生	社会医療法人康陽会 中嶋病院 リハビリテーション部 課長	理学療法科 作業療法科
2	曾矢 猛美 先生	曾矢矯正歯科クリニック 院長	歯科衛生科
3	千葉 亨 先生	株式会社いちにいさん 紫山いちにいさん保育園 園長	こども科
4	大塚 涼子 先生	社会福祉法人ラ・サール会 児童養護施設ラ・サール・ホーム施設長	こども科 (欠席)

【学校教職員】

校長：眞柳 秀昭 副校長：熊谷 孝一 教頭：横山 さゆり
 理学療法科学科長：山田 剛 作業療法科学科長：佐藤 元彦
 歯科衛生科学科長：永沼 由香 こども科学科長：工藤 愛美
 言語聴覚科学科長：小坂井 秀行 事務局 渡邊・相澤

4. 次第

- (1) 開 会
- (2) 開会挨拶 校 長 眞柳 秀昭
- (3) 議長選出 議 長 曾矢 猛美
- (4) 令和6年度自己評価報告 副校長 熊谷 孝一
- (5) 討議・意見交換 各委員
- (6) その他

(7) 閉会挨拶

校 長 眞柳 秀昭

(8) 閉会

5. 令和 6 年度自己評価結果に対するご意見

(1) 教育理念・目標

教育目標や事業方針が明確に打ち出されているので問題はない。また学校全体で討議し評価されていることが理解できたと発言をいただいた。

(2) 学校運営

学生に対するコンプライアンスについてどのような指導をされているのかという質問があった。これに対し、医療現場でほとんどの学生が実習を行っているので知りえた個人情報については厳密に管理することを徹底させていること、また講義内容にかかわる情報の取り扱いにも指導を行っているという回答があった。

(3) 教育活動

各科指定規則に則ったカリキュラムを実施している。教員の資質向上のために研修会の受講や、入職後の大学院での修学を認めているという説明に対し特にご意見はなかった。授業評価の実施・評価体制の評価が「3」となる理由について質問があり、昨年度までは共通のフォーマットがなく教員が個人で学生からの授業評価をおこなっている状況で、学校全体で取り組み事が出来ていなかったため「3」と評価した。現在評価体制・内容について学園として取り組んでいるという回答があった。

(4) 学習成果

理学療法科・作業療法科・歯科衛生科の3科すべてが令和6年度国家試験合格率100%を達成できたことは学習成果の表れと言える。学生の退学率は令和5年度より改善したが、菅原学園として目標としている退学率5%はクリアできなかったことについて説明があった。退学理由として成績不振が多いので、引き続き基礎学力アップに力を入れ退学者の減少に努めると説明があり理解を得られた。

(5) 学生支援

卒業生への支援体制について、同窓会設立に向けて名簿の作成に取り掛かった旨の報告をしたところ、卒業生の年代が30,40代ではなかなか直ぐの活動は厳しいのかもしれない、宮城県理学療法士会・作業療法士会・歯科衛生士会などの職能団体との結びつきを強め、加入している卒業生を呼び込むことも始めたらよいのではないかと助言をいただいた。

(6) 教育環境

校内のネット環境が弱く、学生からも無料Wi-Fiの設置を希望されている。今後強化する方向であると説明をした。

(7) 学生募集

R6年度の学生募集は比較的好調に終わり、今年度の学生数も増加した。しかしR7年度は厳しい状況になると説明。これについて最近の傾向について質問があり、理学・作業療法士の養成が本校は4年制で大学とかぶっており、さらに大学の修学支援新制度のシステムが専門学校より大学が優遇されているため、本校の学生募集に影響しているのではないかと推察していると回答があった。さらに本校の立地条件を逆手にとり、静かな環境や生活圏の安全・安心感をアピールするべきだと助言をいただいた。

(8) 財務

学園のHP上で財務情報を公開している。計画性をもって予算化し妥当な収支となっている。

(9) 法令遵守

本校の教育は厚生労働省の養成課程であり、法令・設置基準の遵守と適正な運営を行っている。また、自己評価結果はホームページ上で公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

地域貢献の点で委員より近隣の紫山・寺岡地区の方々や宮城大学・寺岡中学校等の教育施設との連携をとることへのアドバイスをいただいた。

また、学生のボランティア活動は学生の視野が広がるので、行きやすい時間帯のものを学校が紹介するとよいと助言をいただいた。

以上のようなご意見等を頂き、議長による採決の結果、問題なく自己評価が行われたと承認を得た。

6. その他 特になし

以上